

# 被害者は死刑を望むのか

## 韓国の被害者遺族を迎えて日本の裁判員制度を考える

昨年12月から被害者の法廷参加も始まり、被害者遺族は死刑を求めるのが当然という風潮が報道を通して流されています。しかしそれは本当でしょうか。被害者遺族で加害者と交流を持つ人はいないのでしょうか。憎み続けることから何かが生まれるのでしょうか。加害者を死刑にすることで遺族はいやされるのでしょうか。加害者を赦すと大きい反響を巻き起こしたコ・ジョンファンさんを韓国から招き、講演をしていただき、死刑廃止へ向かう韓国での動きを、パク・ビョンシク東国大学教授に話していただきます。そして日本の被害者運動を担うお二方、及びこの問題を追い続ける映像作家・坂上香さんとシンポジウムを行います。裁判員制度はさらなる重罰化を招かないか。ともに考えたいと思います。

日時・6月20日(土) 1時30分開始

会場・文京区民センター3A会議室

会場費・500円

講演・韓国の死刑をめぐる動き パク・ビョンシク

私はなぜ加害者を赦したのか コ・ジョンファン

シンポ 韓国の被害者とパク・ビョンシクさんを囲んで

片山徒有さん、原田正治さん、坂上香さん

### コ・ジョンファン(高貞元)さん

2003年10月9日、ソウルで、コ・ジョンファンさんの80代の母、妻、成人した息子の3人が殺された。コ・ジョンファンさんが第一発見者であった。

2004年7月18日、ユ・ヨンチョル(柳永哲)が逮捕され、21人もの連続殺人が明らかになり韓国を震撼させる。コさんはその日から何年間も遺族として深い傷を抱え辛い年月を過ごす。事件は彼の家族と生きる喜びを奪い、彼は死をも願う。

しかしある時、コさんはコ・ヨンチョルに対して赦す気持ちになる。その時からコさんは新たに生きるようになった。07年10月には「死刑廃止国家宣布式」にゲストとして出席、アメリカの「ジャーニー・オブ・ホープ」にも参加、加害者・被害者たちとの交流を深める。そしてコさんは裁判官ヘグの減刑を求める嘆願をし、ユとの交流を始める。コさんは赦しと和解の道程を歩み始めたのだ。



コ・ジョンファンさん  
(撮影・佐藤大介)

### パク・ビョンシク(朴秉植)さん

韓国の東国大学法学部教授。明治大学で長期にわたって刑事政策を研究。韓国での死刑廃止運動をになう。古くからのフォーラム90のメンバーである。

### 片山徒有(かたやただあり)さん

97年11月に息子の隼(しゅん)君を交通事故で亡くした被害者遺族。現在は多くの少年院や刑務所などで更生教育にも関わっている。あひる一会(あひるのいちえ) 被害者と司法を考える会 代表 著書に『犯罪被害者支援は何をめざすのか』(現代人文社)、『隼まで届け7通の手紙』(河出書房新社)がある。

### 原田正治(はらだまさはる)さん

1983年1月、弟を保険金目的で殺される。加害者に対する怒りや憎しみを抱きながらも、「加害者の命を奪うことでは被害者は救われない」と死刑廃止を主張。現在Ocean 被害者と加害者の出会いを考える会代表。

著書に『弟を殺した彼と、僕。』(ポプラ社)がある。

### 坂上香(さかがみかおり)さん

映像ジャーナリスト、津田塾大学准教授。死刑問題・被害者問題を扱った作品に「ジャーニー・オブ・ホープ 死刑囚家族と被害者遺族の2週間」96年NHK BS-1、「ライフ・アーズ 終身刑を超えて」など多数ある。著書に『癒しと和解への旅 犯罪被害者と死刑囚の家族たち』(岩波書店) 編著に『アミティ・「脱暴力」への挑戦』(日本評論社)などがある。

## 韓国の死刑はどうなっているのか

韓国では、1997年12月に23人もの死刑が執行されてから現在まで死刑の執行は停止されています。3度にわたり「死刑制度廃止特別法案」が国会に上程され、05年2月には法制司法委員会ですべて審議入りしました。その後、廃案となったものの、07年10月には「死刑廃止国家宣布式」、同年12月には「実質的死刑廃止国記念式典」がソウルで開催されました。

主催

死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム90

Ocean 被害者と加害者の出会いを考える会

東京都港区赤坂2-14-13 港合同法律事務所気付 03-3585-2331

東京都千代田区神田錦町2-2-4 F アムネスティ気付